

保健福祉局

一般会計要求総額	165,935 百万円 (対前年度 ▲3.9%)
特別会計要求総額	235,725 百万円 (対前年度 +0.8%)
病院事業会計	882 百万円 (対前年度 +9.2%)

【令和6年度 予算要求の方針】

保健福祉局では、これまで取り組んできた「先進的介護『北九州モデル』」等を基盤として新しい介護の在り方を確立・発信することで国内外から人や投資を呼び込み、「稼げるまち」の実現を目指します。

また、高齢者や障害のある人も含めて、誰もが社会活動に参加し活躍できるまちづくりを進め、市民が自ら望む方法で地域貢献できる環境を整備することにより「彩りあるまち」の実現に取り組みます。

さらに、人と人とのつながりの中でお互いを尊重し合い、温かく支え合うまちづくりのため、デジタル技術を活用しながら、保健・医療・介護・福祉分野の基盤を整備することにより「安らぐまち」を実現し、誰もが自分らしく安心して人生100年時代を幸福に暮らすことができるまち、全ての市民が健やかで心豊かに生活できるまちを目指します。

【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

I 「稼げるまち」の実現

新：新規事業、拡：拡充事業

稼げる「人」を育む・稼げる「産業」をつくる

先進的介護「北九州モデル」推進事業
「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業
新働く世代の健康づくり地域・職域連携推進事業
新外国人介護人材育成支援事業 など

II 「彩りあるまち」の実現

彩りある「空間」をつくる

認知症にやさしいデザイン普及啓発事業
新公園を活用した健康づくり事業
新地域のウェルビーイング人材創出検討事業 など

III 「安らぐまち」の実現

暮らしの「安心」を支える

健康リテラシー向上事業
働く世代のオーラルヘルス推進事業
新食と健康ステーションを活用した食育啓発事業
在宅医療普及啓発事業
新新たなつながりによる支え合い創出事業
新ICTを活用した地域の見守り力強化事業
新食や空き家を活用した地域の居場所づくり事業
新やすらぎを感じる終活支援の在り方検討事業
拡医療的ケア児レスパイト事業
新総合療育センター外来待機期間改善事業
新感染症対応力向上事業
新保護犬ねこ不妊去勢サポート事業 など

◆◆◆主な特別会計◆◆◆

国民健康保険特別会計	(予算要求額 102,829 百万円)
介護保険特別会計	(予算要求額 109,532 百万円)
後期高齢者医療特別会計	(予算要求額 19,857 百万円)



北九州市健康イメージキャラクター

※公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。「スマツキー」

令和6年度保健福祉局予算要求方針

1 令和6年度保健福祉局予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度保健福祉局予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	165,935,144千円
(令和5年度予算額	172,584,583千円)
前年度比	▲3.9%

【国民健康保険特別会計】

令和6年度要求総額	102,829,290千円
(令和5年度予算額	100,422,000千円)
前年度比	+2.4%

【食肉センター特別会計】

令和6年度要求総額	407,470千円
(令和5年度予算額	341,000千円)
前年度比	+19.5%

【介護保険特別会計】

令和6年度要求総額	109,532,209千円
(令和5年度予算額	109,286,000千円)
前年度比	+0.2%

【後期高齢者医療特別会計】

令和6年度要求総額	19,857,008千円
(令和5年度予算額	18,260,000千円)
前年度比	+8.7%

【市立病院機構病院事業債管理特別会計】

令和6年度要求総額	3,098,739千円
(令和5年度予算額	5,470,400千円)
前年度比	▲43.4%

【病院事業会計】

令和6年度要求総額	882,488千円
(令和5年度予算額	808,400千円)
前年度比	+9.2%

(2) 令和6年度保健福祉局予算要求の方針

保健福祉局では、これまで取り組んできた「先進的介護『北九州モデル』」等を基盤として新しい介護の在り方を確立・発信することで国内外から人や投資を呼び込み、「稼げるまち」の実現を目指します。

また、高齢者や障害のある人も含めて、誰もが社会活動に参加し活躍できるまちづくりを進め、市民が自ら望む方法で地域貢献できる環境を整備することにより「彩りあるまち」の実現に取り組めます。

さらに、人と人とのつながりの中でお互いを尊重し合い、温かく支え合うまちづくりのため、デジタル技術を活用しながら、保健・医療・介護・福祉分野の基盤を整備することにより「安らぐまち」を実現し、誰もが自分らしく安心して人生100年時代を幸福に暮らすことができるまち、全ての市民が健やかで心豊かに生活できるまちを目指します。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

- ・ 先進的介護「北九州モデル」推進事業 60,000千円

介護の生産性を高め、人材不足に対応するため、介護ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進及び深化・拡充に取り組むとともに、在宅版の北九州モデル構築を目指します。

- ・ 「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業 5,500千円

介護のしごとに対するネガティブイメージを払拭し、介護職に対する認知度の向上やイメージアップにつながる情報を発信することで、多様な人材の参入を促進します。

- ・ **新規**働く世代の健康づくり地域・職域連携推進事業 2,000千円

就労世代の健康課題解決に向けた取組みのため、「地域保健」と「職域保健」を担う各種団体に協議体を設置し、それぞれの健康課題や取組みを共有し、保健サービスを相互に有効活用することで、生涯を通じた健康づくりを推進します。

- ・ **新規**外国人介護人材育成支援事業 2,500千円

外国人介護人材の介護福祉士の資格取得やスキルの向上を支援し、介護の質の向上を図るとともに、介護分野への外国人の就労・定着を促進します。

- ・ 障害福祉分野等におけるICT・ロボット等導入事業 18,643千円

障害福祉等の現場における介護業務の負担軽減、労働環境の改善及び業務効率化を推進するため、障害福祉サービス事業所等へICT及びロボット等の導入を支援します。

(2) 「彩りあるまち」の実現

- ・ 認知症にやさしいデザイン普及啓発事業

2, 243千円

認知症の人やその家族の生活環境の質の向上を目的として、令和5年度に実施したセミナーに続き、認知症の人にやさしいデザインに関する知識の普及に取り組み、市民の理解を深めます。

- ・ **新規**公園を活用した健康づくり事業

1, 000千円

自然と健康になれるまちの実現に向けて、就労世代や健康に関心が薄い人も身体活動・運動に取り組めるよう、公園を活用してウォーキング等を促進します。

- ・ **新規**地域のウェルビーイング人材創出検討事業

4, 000千円

地域共生社会づくりの基盤となる、幸せを感じられる地域社会の創り手を担う高齢者リーダー「地域のウェルビーイング人材」を育むため、年長者研修大学校や生涯現役夢追塾のあり方を見直すための検討会や、高齢者の活躍を推進する市民意識を醸成するシンポジウムを開催します。

(3) 「安らぐまち」の実現

①健康づくりの推進と地域医療の充実

- ・ 健康リテラシー向上事業

2, 500千円

健康への取り組みが十分に認知されていない睡眠や肥満、女性の健康等について、その正しい知識の普及のため、官民協働で講演会や啓発イベント等を開催するとともに、地域で健康づくりに取り組む団体に健康学習を行います。

- ・ **新規**働く世代の健康づくり地域・職域連携推進事業（再掲）
2, 000千円

就労世代の健康課題解決に向けた取組みのため、「地域保健」と「職域保健」を担う各種団体に協議体を設置し、それぞれの健康課題や取組みを共有し、保健サービスを相互に有効活用することで、生涯を通じた健康づくりを推進します。

- ・ 働く世代のオーラルヘルス推進事業 5, 061千円

生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進に向け、若い就労世代の歯周病予防を推進するとともに、かかりつけ歯科医の定着促進を図るため、歯周病検診の対象者に20歳及び30歳を新たに加えて実施します。

- ・ **新規**食と健康ステーションを活用した食育啓発事業
2, 000千円

若い世代や子育て世代に食と健康について楽しく学べる機会を提供するため、啓発動画の二次元コードをステッカーなどにして、飲食店やスーパー、市民センター等に「食と健康ステーション」として展開します。

- ・ **新規**高血圧重症化予防実証事業 3, 306千円

就労世代や若い世代など保健指導等でアプローチが難しい層における高血圧の重症化予防策として、アプリを活用した血圧管理や健康学習、受診勧奨の有効性を検証します。

- ・ **新規**骨粗しょう症検診受診促進事業 3, 101千円

骨粗しょう症検診の受診促進を図るため、骨粗しょう症検診の自己負担額を軽減するとともに、50歳の女性にハガキによる検診案内を行います。

- ・在宅医療普及啓発事業 14,000千円

病気や要介護状態となっても、住み慣れた地域で療養しながら安心して暮らし続けることができるよう、その選択肢の一つとなる在宅医療への理解度や知識が高まる取組みを展開し、在宅医療の普及・促進を図ります。

②地域福祉・高齢者福祉の推進

- ・**新規**新たなつながりによる支え合い（ソーシャルキャピタル）創出事業

5,000千円

地域活動の担い手が減少する中でも単身高齢者など支援を必要とする人の増加に対応できるよう、地域の支え合いを強化し、社会全体の新たな形でのつながり（ソーシャルキャピタル）の充実を図ります。

- ・**新規**地域のウェルビーイング人材創出検討事業（再掲）

4,000千円

地域共生社会づくりの基盤となる、幸せを感じられる地域社会の創り手を担う高齢者リーダー「地域のウェルビーイング人材」を育むため、年長者研修大学校や生涯現役夢追塾のあり方を見直すための検討会や、高齢者の活躍を推進する市民意識を醸成するシンポジウムを開催します。

- ・**新規**食や空き家を活用した地域の居場所づくり事業

4,000千円

生活困窮等の課題を抱える方を含め、市民が気軽に参加できる交流の場を創出するため、地域で食を通じた居場所づくりを行う団体を支援するとともに、新たな居場所づくりへの空き家の活用を図ります。

- ・ **新規** ICTを活用した地域の見守り力強化事業
4, 500千円

民生委員の担い手確保対策として、タブレット端末等のICTを活用し、活動の効率化と負担軽減についての実証等を行います。

- ・ **新規** やすらぎを感じる終活支援の在り方検討事業
2, 000千円

一人暮らし等の高齢者の増加をふまえ、葬儀や納骨など人生の終末期の心配事に備えて、自らの意思で整理を行う終活を推進するため、安心できる仕組みづくりについて検討します。

- ・ 認知症にやさしいデザイン普及啓発事業（再掲）
2, 243千円

認知症の人やその家族の生活環境の質の向上を目的として、令和5年度に実施したセミナーに続き、認知症の人にやさしいデザインに関する知識の普及に取り組み、市民の理解を深めます。

- ・ 先進的介護「北九州モデル」推進事業（再掲）
60, 000千円

介護の生産性を高め、人材不足に対応するため、介護ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進及び深化・拡充に取り組むとともに、在宅版の北九州モデル構築を目指します。

- ・ 「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業（再掲）
5, 500千円

介護のしごとに対するネガティブイメージを払拭し、介護職に対する認知度の向上やイメージアップにつながる情報を発信することで、多様な人材の参入を促進します。

- ・ **新規**介護認定審査会ペーパーレス化導入事業
14,086千円

介護認定審査会資料の「紙」運用を見直し、ペーパーレス化を導入することで、「紙」運用に係るコストと業務を削減し、併せて資料紛失等による個人情報漏洩リスクの軽減を図ります。

③障害福祉の推進

- ・ こどもの安心・安全対策支援事業
24,070千円

こどもの安全を守るため、障害児通所支援事業所等へ送迎バスへの置き去りを防止する安全装置等の導入を支援します。

- ・ **拡充**医療的ケア児レスパイト事業
14,300千円
(うち拡充分11,000千円)

医療的ケアを必要とする在宅の子どもと家族を支援するため、介護負担軽減（レスパイト）を目的に利用した訪問看護費用の一部を助成します。

- ・ **新規**総合療育センター外来待機期間改善事業
5,872千円

発達障害に係る診断希望が集中し、長期の待機期間が発生している総合療育センター外来の心理スタッフを増員して、待機期間の改善を図ります。

- ・ 障害福祉分野等におけるICT・ロボット等導入事業（再掲）
18,643千円

障害福祉等の現場における介護業務の負担軽減、労働環境の改善及び業務効率化を推進するため、障害福祉サービス事業所等へICT及びロボット等の導入を支援します。

④保健・衛生管理体制の充実

- ・ **新規**感染症対応力向上事業 6,963千円

次の健康危機に備えるため、新型コロナ対応における課題を踏まえ、平時から、施設等における感染防止対策や専門職等を対象とした実践型訓練・研修を行い、感染症対応力向上を図ります。

- ・ **新規**保護犬ねこ不妊去勢サポート事業 6,000千円

致死処分ゼロの継続と不幸な命を増やさないため、また野良猫に起因する糞尿被害などへの対応のため、飼い主のいない犬猫等の保護活動を行っている団体等へ不妊去勢手術費用の一部を助成します。

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) 視点1：市民のニーズや社会経済情勢の変化への対応

- (例)・地域介護予防活動実践者支援事業
- ・ ウェルとばた管理運営事業（エネルギー価格高騰）

(2) 視点2：効率性・生産性・費用対効果

- (例)・公用車リース化経費（障害者支援課業務）
- ・ 健康マイレージ事業

(3) 視点5：DXの推進

- (例)・保健福祉施策推進事業

(4) その他

(例)・元利補給補助(救護施設)

(5) その他一般経費(内部管理費)の見直し